

塩川
衆院議員

全国一律サービスこそ国民の願い 銀行業界・財界のための民営化やめよ

安全・安心・便利な郵便局

「民営化」で手数料負担は増えサービスは低下

「郵便局をもっと便利に」
「民間にできることは民間に」——小泉首相と政府が大宣伝する民営化のうたい文句。これが事実と反することが塩川議員の追及でハッキリしました。

塩川議員は「民間で出来ないサービスを提供してきたのが郵便局」として、過疎地域で銀行や農協などの金融機関が儲からないとして店舗を撤退させるなかで、郵便局の占める店舗が五三％になっている事実をあげ、「全国一律サービスを

投げ捨てて民間任せにすれば国民サービス低下は必至」と追及。

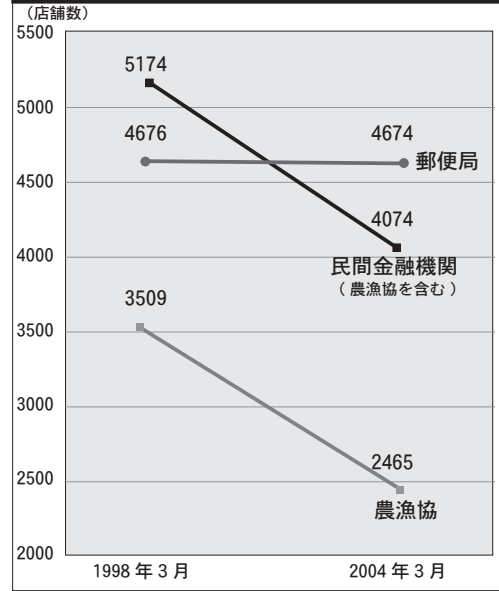
また、現在の郵便局では無料の現金自動預払機の引き出しや両替の手数料を、「民営化したら銀行とおなじように手数料をとるか」との塩川氏の質問に、小泉首相は「経営者の判断」と答弁、当然との態度を示しました。

塩川氏は、国民にとって負担は増えサービスは下がっている民営化の撤回を要求しました。

郵便局と民間銀行（東京三菱銀行）の手数料の比較

	ATM 引き出し 平日時間外 休日	両替 百円玉を一円玉 100枚に両替	通帳の 再発行
郵便局	無料	無料	無料
東京三菱銀行	105円	315円	2,100円

過疎地域での郵便局、民間金融機関の店舗配置状況



「外国に成功例なし」と麻生大臣

「先進諸国で郵政の民営化で成功した例はあるのか。」と問われ、答弁に立った麻生総務相。

ドイツについては「(民営化が始まったときの)郵便局数2万9千が2002年には12,683までに減った」と指摘。ニュージーランドについても「金融サービスが著しく支障を来した」と、郵政民営化の「成功例がない」ことを断言しています。

(2月7日衆院予算委員会)

塩川議員が追及
銀行のバブルのツケを
なぜ郵便局利用者が穴うめか!

塩川議員の予算委員会での質問で、銀行などの金融機関が積み立てた預金保険が、バブル破

ことで、銀行のツケの穴埋めをさせられることが明らかにされました。

塩川議員は「預金保険料の積み立ての赤字は政府の経済失政とバブルに踊った銀行経営者の責任。郵便貯金会社が穴埋めすることは責任のない利用者にかわされるもの」と厳しく追及しました。

塩川議員は国民に「痛み」を押しつける郵政民営化は、結局銀行の競争相手の郵貯を「弱体・解体」し、銀行の儲けを応援することが狙いであり、「中止せよ」と要求しました。



